

令和6年度 大分県立看護科学大学

一般選抜・後期日程入学者選抜試験 総合問題解答例

- ・解答の一部が以下に示した正答と異なる場合でも、「正答」または「部分点付与」としていることがあります。
- ・誤字脱字は減点対象となります。

問題1 (90点)

問1

ア)、エ)

問2

「充実感」…やりがい 「疲労感」…ストレス

問3

volunteer

問4

誤解を招きやすい言い方。また、そのために起こる弊害。(26字)

問5

自分自身の哲学が構築される実感 (15字)

問6

エ)

問7

一方的に何かを「してあげる」のではなく、あげたら何かを頂戴できる活動。
(35字)

正答の条件は、次の2つとする。

1. 対等な関係であることを表現できていること。
2. 20～35字で記述していること。

問題 2 (60 点)

問 1

訪日外国人観光客

問 2

以下のうち、3つが記述されていること。

やわらかい豆腐の製造

冷ややっこなどの料理

昆布や鰹節のだし

刺身の発達

問 3

a:キ) b:ス) c:イ) d:ケ)

問 4

ア)、ウ)

問 5

日本人が育んできた食文化 (12 字)

正答の条件は、次の 2 つとする。

1. 正答例と同様の内容が記述されていること。
2. 12~15 字で記述していること。

問題 3 (50 点)

問 1

ドイツ

問 2

- 1) ク、カ、ケ
- 2) ウ、エ、イ

日本とアメリカの違い

デジタル活用が困難な理由として、日本ではルールや制度、コミュニケーション、文化や習慣など、人的な要因を挙げた回答が多いのに対し、アメリカでは回線速度や安定性、通信サービスが高額、機器の未整備など、設備的な要因を挙げた回答が多いということ。

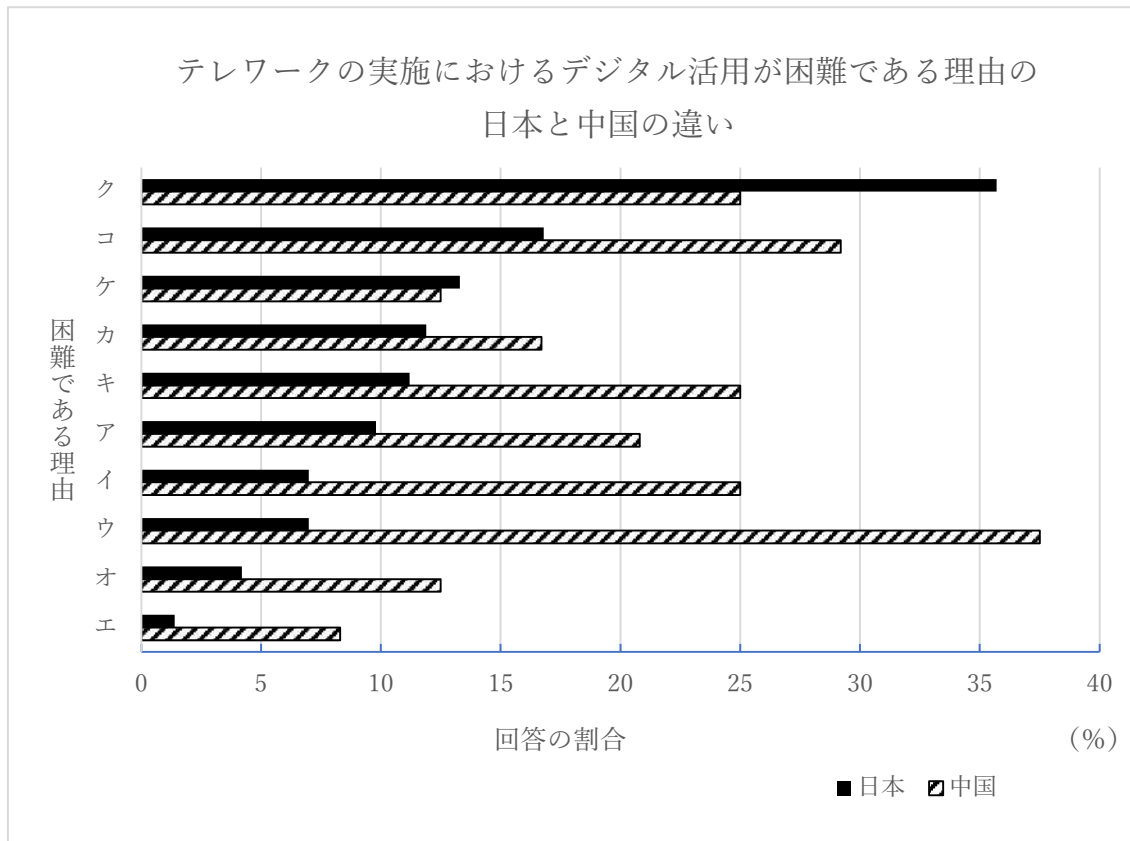
正答の条件は、次の 2 つとする。

1. 日本とアメリカの違いを的確にまとめて表現していること。
2. 対比の表現が適切であること。

問 3

a): ○ b): × c): × d): ○ e): ×

問 4



正答の条件は、次の4つとする。

1. 日本と中国について、棒グラフまたは折れ線グラフで描かれていること。
2. 日本の回答率の順番、同率のイウの順番が合っていること。
3. 適切なタイトルをつけた一つのグラフとして描かれていること。
4. 表現されている数値がおおむね正しく、数値の意味がタイトル、軸ラベル、軸目盛によって適切に示されていること。